

凡 例

- 1、本資料は歴代宝案編集参考資料として、『歴代宝案』訳注本第11冊（第2集巻146～160）〔沖縄県教育委員会刊行〕の語注を、事務局で一覧表にまとめたものである。
- 2、本資料は元来事務局での作業用にパソコン処理をして作成したものである。
- 3、訳注本で語注を付した語句は総数 1,947件である。うち、文字の異同等校訂に関わるような注、引用文書を示す注などを除き、1,516件（語句 1,266件、人名・地名 250件）を抽出した。
- 4、配列は大きく総画数順と五十音順に分け、それぞれ①語句、②人名・地名に分けた。
総画数順は訳注本第11冊に付した「語注索引」に準じるものである。
- 5、項目は、語彙、意味、種類（語釈、人名・地名）、集、巻（巻番号）、号（文書番号）、注番号、冊数、頁数である。
なお項目のうち語彙に「→」があるのは「見よ項目」である。

2005年3月25日

財沖縄県文化振興会公文書管理部
史料編集室